

新田博氏の『言葉の新田：一つの文学饗宴』から

「年最終情報」

データ陳腐化についての考え

今日、明らかとなった「事実」は
明日には、根拠のない「作り話」と
なるかもしれない

この瞬間の確かさは
いつか、かならず
その輝きをなくす

人類が存在する限り
知識への飽くなき探求は
進み

我々の
発見への欲望と努力は
いつの日か
創造の許容範囲を超え
膨大な知識の山へと導くであろう

発見と開花が
流れるように融合してこそ
すべてのものの
創造へと
繋がる

- T Newfields (和訳: 吉田典子)

開始: 1991 年 静岡市 ★・完成: 2010 年 東京





ブルース：これは、純正 DTE デバイスですか？

アーニャ：そうですが…私は、プロトコルについてよくわかりません。

カルロス：計器の端はどこですか？

デバーニ：どの人も、正確な場所が見えていませんね。詩を構成する部品 of 全ては、想像の原野で調達されます。だからあなたも、そこで必要な全てのクロック信号を見つけてください。

ブルース：しかし、この詩は RS-232 信号でもなく、FS-1037C 信号では不満です。

デバーニ：確かに、その二つの信号は、必要なさそうですね。